



## 主要な農作物の生育情報

令和2年度 第7号

(令和2年10月7日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【水 稲】

農業総合センター調査の成熟期は、登熟期間の気温が高く推移したことから平年より早まりました。登熟日数も平年より短くなりました。

県内の刈取始期（5%）は9月26日（平年：9月27日）となり、収穫作業は平年並に進んでいます。一部地域でコシヒカリを中心に倒伏が多い状況です。

表1 水稲主要品種の成熟期と登熟日数（農業総合センター）

場 所	品 種	田植日 (月日)	成熟期			登熟日数		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (日)	平年 (日)	平年差 (日)
本 部 (郡 山)	ひとめぼれ	5.15	9.12	9.20	-8	37	48	-11
	天のつぶ	5.15	9.13	9.22	-9	37	49	-12
	コシヒカリ	5.15	9.24	10. 1	-7	41	51	-10
会津地域研究所 (会津坂下)	ひとめぼれ	5.20	9. 9	9.10	-1	42	42	±0
	天のつぶ	5.20	9.11	9.14	-3	42	44	-2
	コシヒカリ	5.20	9.17	9.18	-1	42	44	-2
浜地域研究所 (相 馬)	ひとめぼれ	5.11	9. 8	9.14	-6	34	45	-11
	天のつぶ	5.11	9.19	9.23	-4	44	53	-9
	コシヒカリ	5.11	9.24	9.29	-5	42	52	-10

### 【野 菜】

#### 1 秋ブロッコリー

県南地方では、播種は7月上旬、定植は7月下旬から開始され、いずれも平年並となりました。定植のピークは8月10日頃で8月末にはほぼ終了し、順調に生育しています。

出荷のピークは平年並の10月中～下旬と予想されます。病害は、黒すす病が発生しています。

#### 2 秋冬ニラ

6～7月の日照不足により徒長傾向に生育し、8月の高温により十分な株養成が行われずに経過した。捨て刈りは10月下旬から、収穫は11月中旬から行われる見込みです。病害は、さび病が発生しています。

#### 3 いちご

普通育苗の花芽分化はやや遅れ気味であったことから、定植作業は9月中旬から順次行われた。定植後の生育は順調に経過しており、収穫は11月中下旬頃からはまる見込みです。

#### 4 夏秋トマト

4月下旬定植の作型は、平年並の17～18段花房開花、13～14段花房の収穫となっています。9月中下旬には摘芯作業が行われ、収穫は10月下旬から11月上旬頃まで行われる見込みです。

### 【果 樹】（10月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

#### 1 りんご

##### (1) 果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が76.0mmで平年比95%、横径が84.8mmで平年比97%と平年よりやや小さくなっています。満開後日数の体積指数で比較すると、平年比89%で平年より小さい状況です。

## (2) 果実成熟

「ふじ」の満開後151日（9月30日）における成熟は、硬度は13.0ポンドで平年より低く、デンプン指数は3.6で平年より高くなりました。果皮に含まれるクロロフィル含量、アントシアニン含量はともに平年より低く推移しています。

※りんごのデンプン指数：指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

## 2 なし

### (1) 収穫期と果実品質

「豊水」の収穫盛期は9月13日で平年より6日早くなりました。収穫時の平均果重は432g、糖度は12.6でともに平年並でした。

「二十世紀」の収穫盛期は9月15日で平年より7日早くなりました。収穫時の平均果重は388g、糖度は10.8でともに平年並でした。

## (2) 果実成熟

「ラ・フランス」の満開後160日（9月24日）における成熟は、果肉硬度は11.2ポンドで平年並となり、地色指数は3.4、デンプン指数は4.7でともに平年より高く経過しています。

※「ラ・フランス」のデンプン指数：指数1～5で評価し、数値が低いほどデンプンの消失が進んでいます。

## 【花 き】

### 1 ストック

年内出荷の定植は、平年並の8月中旬から9月にかけて順次行われ、順調に生育しています。年内の本格出荷は11月～12月中旬となる見込みです。春彼岸出荷については、現在、播種育苗中であり順次作業が進んでいます。

### 2 キク類

9月咲きの品種は概ね平年並の出荷でした。また、10月咲きの生育は概ね平年並です。病害虫では、白さび病の発生が一部の品種で多くみられました。

## 【飼料作物】

### 1 牧草

3番草は、9月下旬から収穫が行われています。地域によっては、降雨による2番草の刈遅れの影響やイネ科雑草繁茂の影響により、収量はやや少ない状況となる見込みです。

### 2 飼料用トウモロコシ

中晩生種は、9月中旬から収穫が行われています。品質は良好となる見込みです。また、収量は平年並みまたは増加となる見込みです。

### 3 W C S用稲

8月下旬から収穫が行われています。収量は平年並となる見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>